

Shodai365

Okayama Shoka University

学報2012/9月号

Vol.100

岡山商科大学学報

2012年(平成24年)9月14日発行



上：硬式野球部が中国六大学野球春季リーグ戦優勝（5月）

下：学生・教職員有志により植えられたひまわりが満開（8月）

CONTENTS

<商大トピック>

●三宅博氏講演会 ●山陽新聞社、津山商業高校との包括協定 ●EUバスが本学来校

<アジアレポート>

●端午節交流会 ●中国研修旅行 ●座禅・茶道体験

<情報アラカルト>

●第47回商大祭 ●きゃんぱすてれび スタート ●2012年度後期夕学講座

商大 トピック

Topic 1

学位記授与式

2012年3月22日(木)、第44回学位記授与式が挙行され、395名に学位記が授与されました。井尻学長や来賓の方々から門出にふさわしい祝辞が寄せられました。在校生



を代表して経済学部経済学科3年・窪田尚仁さんから「先輩方から多くのことを教えられ学びました。社会でのご活躍を祈念します。」との送辞が述べられました。それを受けて、卒業生代表の商学部会計学科・松下祐宇さんから「多くの人と

●学位記授与者数

商学部商学科	192
商学部会計学科	32
法学部法学科	68
経済学部経済学科	76
商学研究科	21
法学研究科	2
経済学研究科	4

の出逢いが自分自身の糧となりました」、「本学で学んだことに自信と誇りを持ち、夢をつかめるよう精進します」との力強い謝辞が述べられました。

(総務企画課)

Topic 2

入学宣誓式

2012年4月3日(火)体育館において入学宣誓式が挙行され、475名(学部生401名、大学院生18名、留学生別科生・交換留学生56名)が本学の門をくぐりました。井尻学長からの「整えられた環境を生かし、四年間を生き生きと過ごしてください」との式辞に、法学部法学科 中岡将志さんが入学生を代表して、学生生活への誓いを言葉にしました。新たな生活の始まりに、未来への確固たる希望と幾ばくかの不安が、新入生の胸中に去来したことでしょう。引き続き学科別のオリエンテーションが行われ、大学生活はスタートを切ったのでした。

(総務企画課)

Topic 3

特待生認定証書授与式

4月3日(火)、入学宣誓式・オリエンテーションに引き続き、井尻記念館4階ホールにおいて、特待生認定証書授与式が挙行されました。最初に、法学



部法学科9名、経済学部経済学科8名、経営学部経営学科22名、経営学部商学科10名、計49名の新入学特待生を紹介し、各学科代表者に井尻学長から認定証書が授与されました。

最後に特待生を代表して、経営学部経営学科の西川奈都美さんは「今日の気持ちを忘れず、今後もより一層勉学に励みたい。」と意気込みを述べ、授与式を締めくくりました。

(学生課)

Topic 4

“虎の007”三宅博氏講演会

本学硬式野球部コーチ三宅博氏が今年の2月に初の著書「虎の007スコアラー室から見た阪神タイガースの戦略」(角川マガジンス)から出版記念して3月3日(土)に本学井尻記念館に於いて開催しました。



倉敷市出身の三宅氏は、倉敷工業出身で俊足巧打の遊撃手として活躍、その後阪神タイガースに入団、引退後は2006年までスコアラーを務めました。2011年から本学コーチとして本学野球部の指導に当たっています。

当日講演会には高校野球部員、高校の指導者、一般野球ファン、大学関係者等100名の参加者がありました。その中で、三宅氏からは歴代プロ野球監督「野村、星野、岡田」等の他では中々聞かれない興味深い話があり、高校野球部員、一般野球ファンからは活発な質問が出るなど盛会となりました。

(キャリアセンター・仁科昭宣)

Topic 5

山陽新聞社との包括協定について

2012年3月28日(水)に本学と山陽新聞社との間に包括的連携協力に関する協定書調印式を執り行いました。新聞の活用などによる教育の向上及び推進を行うことを目的としています。



調印式では山陽新聞社の越宗社長から、「地域貢献という同じ使命に向けて、協定を契機にものにしていきたい」とのご挨拶がありました。

山陽新聞社とはこれまでも大学コンソーシアム岡山共催の吉備創生力レッジへの講師派遣、講義「岡山講座」への山陽新聞社OBの登壇など協力関係にありましたが、今後は新たに現役記者による講義「マスコミ論」が開講されます。

(産学官連携センター)

Topic 6

2012年度経営学特殊講義開講

(株)岡山経済同友会のボランティアプロフェッサー制度による経営学特殊講義を、2012年4月から17年目として開講しています。

2012年度前期は、テーマを「岡山経済界における若手・中堅経営者の経営」とし、(株)日産サ

ティオ岡山社長・若林信吾氏、(株)サンヨーブレジャー社長・高谷昌宏氏、(株)ミツバファクトリー社長・江見慎之介氏、カーツ(株)社長・勝矢雅一氏にご登壇頂きました。また、スポーツクラブの経営をテーマにしたお話を(株)アジアノ岡山スポーツクラブ社長・木村正明氏、岡山湯郷Belle GM黒田和則氏から伺いました。



後期は「岡山県内の地方自治体における若手・中堅市長の地域への取組施策」というテーマで総社市長・片岡聡一氏、浅口市長・栗山康彦氏、瀬戸内市長・武久顕也氏、玉野市長・黒田晋氏、新庄村長・笹野寛氏、笠岡市長・三島紀元氏等にお話しを伺う予定です。

(経営学部経営学科・大崎紘一)

Topic 7

観光振興論特別講義2012

本年度も、全学部の2年生以上を対象に開講し、無事終了しました。本科目は、地域の実務家をお招きして観光振興を考える実践的科目です。

今回で3回目の開講となり、約70名の学生が熱心に受講しました。毎回の講義は、行政や関係団体の皆様や両備ホールディングスの小嶋会長を始め、松田社長などトップ陣にご登壇頂き、観光に対する夢や理念をお話し頂きました。「観光は特別に創るものではなく、地域に根付いた風土や人材を育成する仕事であり、特に若い人の感覚や感性がポイントとなる。」の指摘が特に印象的でした。

次年度以降もこの教養を踏まえ、さらに充実した科目としたいと思います。

(経営学部商学科・田中 潔)

Topic 8

津山商業高校との包括協定書調印について

2012年4月17日に、岡山県立津山商業高等学校との間に、相互の教育機能の強化を行うため、高大包括連携に関する協定を結びました。協定書では事業内容として、津山市等の活性化、韓国・中国・台湾の学生との交流、出張講義等を行うことなどを定めました。



7月17日には、本学留学生と津山商業高校生(国際ビジネス科に所属する生徒)がスポーツを通じて交流をし、国際理解を深めるイベントを開催しました。また、7月24日からの3日間、本学孔子学院の主催で、津山商業高校生・先生及び孔子学院受講生等が中国体験ツアーとして、中国上海・無錫・蘇州を訪ねるなど積極的な交流事業を行っています。

(産学官連携センター)

Topic 9

吉備路サイクリング開催

商学科では、新入生、留学生、教職員の親睦をはかるため、5月12日(土)に、商大から吉備路サイクリングロードを備中国分寺まで往復するサイクリングを実施しました。



当日は、雲ひとつない青空のもと33名が参加しました。5月のさわやかな風が吹き抜ける中を、吉備津彦神社で見学のあと備中国分寺まで走り、五重塔を見ながら、新入生、留学生、教職員が輪になって、学生生活全般について話しながら楽しい昼食をとりました。

帰路、吉備津神社を見学、ダウディング先生の詳しい説明に一同、舌を巻きました。留学生たちも「ダウディング先生くらいの日本通になりたい。」と感心していました。3時頃に大学に全員無事に帰りつきました。本当に楽しい1日でした。

(経営学部商学科・島田伸夫)

Topic 10

EUバスが本学来校

本学では欧州連合(EU)諸国の市民との相互理解を深め、友好を促進し両者間の文化、経済の交流に寄与するという岡山EU協会の趣旨に賛同し、2009年から会員



活動を行っています。その活動の一環として、駐日欧州連合代表部が実施する「EUが大学にやってくる」というイベントを本学で実施しました。これは、EUの情報を伝えるためにラッピングされたバスが全国の主要都市をまわり、PR活動を行うもので、本学には駐日欧州連合代表部広報部長のルディ・フィロン氏が訪れ、学生との交流を行った後、EUの歴史と現状についての講演会を実施しました。欧州債務問題の今後の動向など学生から質問も出され、フィロン氏から、問題の背景と解決に向けての取り組みが分かりやすく説明されました。EUバスの前では、EUスタッフとしてベルギーから訪れた留学生がEUに関する資料とオリジナルグッズを配付し、通りがかった学生と記念撮影をするなど盛んな交流が行われました。

(産学官連携センター)

Topic 11

オーストラリア柔道チーム来学

オーストラリア柔道連盟から派遣されたジュニアチーム(16歳~20歳)が、7月1日から15日まで本学柔道部で合宿を行いました。来日したメンバーは、4年後のブラジルで開催されるオリンピック候補で、コーチ3名、



女子選手7名、男子選手7名でした。

オーストラリア柔道はヨーロッパに比べてレベルは少々低いですが、身体能力の高い選手も多く、将来、技術を修得し練習量を増やせば世界に通じると感じました。合宿の終わりに本学部員との厳しい稽古にも慣れて短期間でしたが成長のあとが伺えました。

また、部員とも打解けて最後の「さよならパーティー」では、再会を期して抱き合い、別れを惜しましました。

(柔道部監督・菊川 顕)

Topic 12

複数中学校との同時遠隔実習

情報通信技術を用いた遠隔教育の研究の一環として、7月5日に本学、岡山市立妹尾中学校、鳥取市立青谷中学校をインターネットで結んで、中学校技術科の制御分野に関する遠隔学校間連携授業を行ないました。本授業では、教育支援用に本学で開発を行っている、インターネットを通して遠隔制御が可能なラジコンカー走行システムを用い、実際の走行の様子を配信し学校間の連携も行なうために無料で利用できるインターネットTV電話システム(Skype)を使用しました。

(経営学部経営学科・小松原実)



Topic 13

大韓民国忠清北道教育庁研修団受け入れ

昨年に続き7月17日(火)~8月3日(金)までの18日間、大韓民国忠清北道教育庁からの依頼により同教育庁所属の中・高等学校日本語教諭10名を語学研修団として、受け入れました。

研修内容は特別講義及び通常講義を本学学生とともに受講した他、課外授業として、備前焼や茶道・座禅などを体験していただきました。また、研修後半には道後温泉や岡山県内の観光地及びテレビ局・附属高校の視察など実施いたしました。附属高校では同じ教育現場の教員同士、日本と韓国教育現場の類似点や相違点など活発な意見交換が行われました。研修団は日本語能力の向上だけでなく、日本文化・風習といったものを体験したいと願われており、研修態度は非常に真剣でありました。

この研修を通じ、日本をより理解いただき、両国の良好な関係が保たれることを願います。

(総務企画課)



Topic 14

岡山県生涯学習大学主催講座を開催

岡山県による事業、「岡山県生涯学習大学」が2012年度も開講され、本学は専門教養コース「これからの地域社会」というテーマを担当しました。地域をテーマとした研究は特に力を入れている分野であり、経営学部・商学科から関連する教員8名が登壇しました。受講者は17歳から84歳までの34名で、地域と大学の様々な連携活動に興味深く耳を傾けていました。講座の中では、学生が震災ボランティアの報告を行う場面もあり、受講者だけでなく学生にとっても貴重な機会となりました。

2012年度 講座日程・テーマ

月日	時間・テーマ	講師
8/21(火)	10:00~12:00 ◎地域おこし (農と食による地域づくり)	経営学部 教授 岸田 芳朗
	13:00~15:00 ◎地域おこし (商品開発による地域おこし)	経営学部 特任教授 馬淵キノエ
8/22(水)	10:00~12:00 ◎地域おこし (商業から考える地域づくり)	経営学部 教授 三好 宏
	13:00~15:00 ◎地域と情報 (インターネットの発展と地域社会)	経営学部 講師 大東 正虎
8/23(木)	10:00~12:00 ◎地域の防災 (東日本大震災の復興支援ボランティアの報告と地域社会の防災)	経営学部 教授 大崎 紘一
	13:00~15:00 ◎地域と商業 (デザイン思考による街づくり・店づくり)	経営学部 教授 岡本 輝代志
8/28(火)	10:00~12:00 ◎地域と経営 (会社づくりと地域おこし)	経営学部 教授 山口 博幸
	13:00~15:00 ◎地域と健康 (現代社会における生活習慣病とその予防対策)	経営学部 教授 岩橋 邦彦

(社会総合研究所)

Topic 15

彫刻家・水山裕司氏の作品展示

京田辺市に工房を構える彫刻家・水山裕司さんの作品15点が附属図書館に展示されています。水山さんは京都精華大学在学中、22歳で「日展」に初入選し、卒業後は、芸術院会員 故 松田尚之先生の内弟子となり指導を受けられました。日展の入選はこれまで20数回受賞されています。この度、水山氏と交流の深い本学OBの染色家・丹下實敏さんのご紹介により展示が実現しました。作品は附属高校に5点、専門学校に1点設置されています。図書館の開館時間にはどなたでもご覧いただけます。



(図書館)

硬式野球部 「第61回全日本大学野球選手権大会出場」

中国六大学野球春季リーグ戦において、12年(24季)ぶり、8度目のリーグ優勝を果たし、念願の全国大会に出場することができました。これもひとえに皆様方の絶大なご支援、ご声援の賜物と深く感謝いたしております。

また、全国大会出場に際しましては、皆様方から物心両面にわたりご支援いただきましたこと、重ね重ねお礼申し上げます。

本大会では、1回戦、八戸大学(北東北大学野球連盟)と東京ドームにて対戦し、残念ながら「1対8」で敗戦という結果に終わりました。全国の厚い壁と我々の実力を痛感させられた一戦となりましたが、全国大会の雰囲気を選手一人ひとりが肌で感じることができたことは何よりも貴重な経験となりました。また、多くの方々に支えられているからこそ、我々は大好きな野球ができる。このことを強く再認識することができました。

この学報が発行される頃には、秋季リーグ戦も開幕していることとします。春季同様、厳しい戦いが予想されますが、常に挑戦者である我々はチーム一丸となり全力で挑み、目標である連覇を成し遂げたいと思います。今後とも、ご声援よろしくお願いいたします。

(硬式野球部 主務 新田連武) ※表紙にリーグ優勝時の写真。



2012 岡山商大、全国へ。

2012年度9月までに次のクラブが全国大会へ出場、又は出場を決めました。その栄誉をたたえ、ここに紹介します。

■野球部

第61回全日本大学野球選手権大会出場

■柔道部

全日本学生柔道優勝大会男子団体出場(中四国大会6連覇)

■卓球部

第82回全日本大学総合卓球選手権大会 男子団体・女子団体 出場

第79回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部) 6名出場決定

第9回全日本学生選抜卓球選手権大会2名出場決定

■陸上競技部

天皇賜盃第81回日本学生陸上競技対校選手権大会3名出場

2012日本学生陸上競技個人選手権大会3名出場

第67回国民体育大会1名出場決定

第28回日本ジュニア選手権1名出場決定

第24回出雲全日本大学選抜駅伝2名出場予定

■ゴルフ部

第49回全国大学ゴルフ対抗戦出場

2012TOPY CUP日米大学対抗ゴルフ選手権大会出場決定

旭杯争奪ゴルフ選手権出場決定

■ボウリング部

第45回全日本新人ボウリング選手権大会決定

エッセー
数珠つなぎ

「天才について」

経済学部 准教授 小嶋 寿史

私は天才の存在を信じていない。優れた能力を持つ人は世にたくさんいる。その中には天才もいるというのがきくと事実なのだろう。でも私は信じていない。天才とはいったい何だろう。いくぶん曖昧な定義ではあるが、ここでは天才を次のように定めよう。何らかの分野で類稀な能力を発揮し、なおかつ後天的な要素ではその能力を説明できない人。

非常に優れた能力を目にしたとき、「天才的ななあ」と感じることもある。誰もがときどきそのような経験をしているのではないだろうか。その能力がどうやって形成されたのか想像もつかない。しかし、そういう人たちはたいていそれに見合ったことをやってきているのではないだろうか。また、周囲の環境やサポート体制もよかったのかもしれない。たまたま幸運が続いたという要素も否定できない。秀逸さに対する素直な感動はさておき、それが本当に後天的なものから説明が不可能なのか考えてみる必要がある。

私のこれまでの経験では、誰かの能力に対して、後天的要素から絶対に説明ができなと確信したことはない。幸いにも、無知なおかげで天才存在の証拠をまだ掴んでいない。したがって、天才が存在しないと信じていても、それほど非常識ではないと思っている。もちろん、天才が存在しないという証拠もない。したがって、天才が存在するかどうかは分からないと考えておくのが分別のある態度なのだろうが、存在しないと信じてそんなに不都合はないと思えるのだ。よく似た話だが、私は先天性などほとんど関係ないと信じている。私は平凡なのだ。先天的に決まっていると信じながら努力することができないのだ。先天性を重視している人は、この点で天才的であるように思える。

尖閣諸島や竹島など、領土問題の事件が相次いでいます。

この領有権がどうのこうのという問題は別にして、私はこれらの出来事に大陸のアジア人と島国の日本人の個性の差を感じています。

多くの中国人や韓国人にしても、とくに視野の開けた若い世代の人たちは、特別日本という国を嫌っているというわけではないようです。むしろ日本人そのものには好感を抱いている。しかし、こういった問題になると、とたんに自国の主張オンリーになってしまう、言うべきことは言うし、やるべきことはやる。具体的な行動に出る。国際的な視野に立てば、むしろこういった中国人や韓国人の態度の方が「普通」ではないかと思えます。

日本人は個人として強い主張や行動に出る人間は、全体で見るときにはあまりに少ないように思えます。大学の講義などでもそうですが、意見を言わない、黙って座っているだけ。奥ゆかしい、といえは聞こえはいいのですが、積極性がなさ過ぎると感じます。

和を重んじる気質というのは伝統的にあるのかも知れませんが、現代ではそれが度が過ぎてしまい、個性を打ち出すことが怖い、といった潜在的な不安感にもつながっているように思われます。

これは日本人の文化や民族性以外にも、やはり教育が大きいのではないのでしょうか。個性を尊重などというのはいったい文句としてはありますが、現実には子供たちは「他の人間と同じ」ようにすることを求められる方が圧倒的に多い。服装を、態度を、言葉を。主張しないと埋もれてしまい、生きていけないという、ちょっとしたサイババル的な環境も教育現場には必要なのではないかと感じる昨今です。

作家の視点

江戸川乱歩賞作家 石井敏弘
本学非常勤講師(第十七期商学部卒)

Asia Report アジアレポート

孔子学院便り

(1) 端午節交流会

2012年6月16日、中国の年中行事である端午節を中国語講座受講生や地域住民に体験してもらうため、「端午節交流会」を開催した。交流会に先立って、孔子学院黎曉妮副院長は端午節にまつわる伝説を紹介し、その後参加者は孔子学院の教師や留学生達と共にちまき作りなど体験した。最後は、孔子学院盛凱副院長は太極拳コースの受講生と共に太極拳の学習成果を披露した。中国語講座受講生、近隣住民と留学生を併せて約90名の参加者があった。



(2) 巡回公演

6月23日、「岡山商科大学孔子学院京劇公演会」を県立美術館ホールにて開催しました。

演者は中国国内の数々のコンクールで賞を受賞されている上海戯劇学院の指導者及び生徒の皆さんでした。当日は約200名の来場者が中国の伝統芸術である京劇を直接鑑賞し、その迫力に圧倒されたようで、大変好評でありました。



(3) 中国研修旅行

7月24日から26日までの3日間、「岡山商科大学孔子学院中国研修旅行」を実施しました。今回は県立津山商業高等学校の生徒さん8名、引率の先生3名、孔子学院受講生1名及び孔子学院事務局から1名の13名で上海・無錫・蘇州を訪れました。参加者は実施前には、孔子学院黎副院長による事前講習を受講しました。そして現地では中国の歴史・風習・産業など実際に関連する場所を訪れ、現地ガイドの方から説明を受けることにより多くのことを学びました。「百聞は一見に如かず」という諺がありますが、正に諺どおりであったようでした。



「日本事情」課外授業「坐禅・茶道」体験と「犬養木堂記念館」見学

7月7日(土) 雨上がりの朝、私たち「日本事情」受講生39名は課外授業として犬養木堂記念館へ向けて学園バスに乗り込みました。

会場では地元の皆さんの温かい出迎えを受け、七夕行事の短冊に思い思いの願いを託した後、早速「坐禅研修」に入りました。坐禅の先生はとても優しく教えてくださいました。座布団の上に、両足を組む結跏趺坐で体を安定させます。結跏趺坐は初めての人にとっては少し難しいので半跏趺坐でもよいとのことでした。



まず結跏趺坐を組んだ足の上に右手のひらを上にして載せます。左手も同じように手のひらを上に掛けて右手に重ねます。両手の親指を軽く

合わせてお互い支えるように印相という手の組み方にします。一度正面を見てから、1.5m先の床に視線を落とすと、半眼という状態になります。こういう状態で私たちは15分ぐらい坐禅を始めました。心が静まり、次第に別世界に浸り悩みも欲も無くなると

いう全く不思議な体験をしました。

次は、同じ畳の部屋で茶道体験となります。茶道は日本精神文明の重要な部分を占め平静、和平の精神を重んじ、直前に体験した坐禅の世界に相通じるような感じを受けました。本国で、茶道について知識を習ったことがありました。今回は初めて自分でお茶をたてる体験ができました。さきに美味しいお菓子を食べてから、茶道の先生たちはお茶を作ってくれて、本当に作法を大切にしていると思いました。お茶をたてる前に茶碗にお湯を汲み入れて、茶筌をとって、茶筌をお湯に通す「茶筌とうし」という所作があります。そして、柄杓を構えることとか、お茶の飲み方とか、すべての動作に美しさがあります。心を落ち着け、細かいことにも気を付ける日本人のデリケートな面に感動しました。

最後は、記念館館長さんの案内で「犬養木堂記念館」を見学しました。国指定重要文化財の木堂生家の隣にある犬養木堂館は、地域文化の振興施設として、木堂の功績と木堂ゆかりのいろいろな資料が展示されています。記念館の中で、私たち留学生は犬養元首相の写真や書道の作品などを拝見しました。中日文化の交流というものが中日両国友好な関係を続けていく上で必要なものだと思います。今回の「日本事情」課外授業のおかげで、日本文化の理解も深められてきました。私たちはまた日本文化を体験する機会があることを楽しみにしています。

(経営学科3年生 李詩瑤 賈曉男 周航)

キャリアセンター便り

私の就職活動

私は12月から企業へのエントリーを開始し、新年を迎えたころから合同説明会にも参加をしはじめました。そのころは、営業職に就きたいということぐらいしか決めていませんでした。岡山県や地元である徳島県の合同説明会に参加していろいろな企業の話を知っているうちに小売業に興味を持ち始め選考を受け始めました。そんな時、2月に大学内で合同企業説明会が開催され参加しました。2日間開催された学内合同企業説明会では、多くの企業の参加があり2日で10社ほど回らせていただきました。そこで、地元徳島の企業である株式会社徳島ダイハツモータースさんに出逢いました。そこで、徳島ダイハツさんのお話を聞かせていただいていると、一度会社訪問に来てみないかと誘われました。会社説明会には参加したことがあったのですが、会社訪問というのは初めてでした。



そして、3月に徳島ダイハツ本社に訪問しました。ここでは、実際に社員の方やお客さんと交渉している姿を見ることができました。また、実際に使用しているモノも見させていただくことができ、より一層興味を持つことができました。なにより良かったのは、社員の方の働く姿を見ることにより、自分が働いているイメージを持つことができたことでした。これにより選考を受けようという意志が固まりました。

その後4月末には一次選考があり、作文、一般常識、面接がありました。面接では会社訪問をさせていただいた時のことや、入社したときの自分をイメージして話しました。それからしばらくして一次選考合格の通知をいただきました。二次選考は6月にあり、面接のみでした。一次選考の時よりも入社してからのことについて質問されました。そこでも、会社訪問の経験が強みになりました。

それからしばらくして内定通知をいただくことができました。来年の春から精一杯がんばりたいという気持ちでいっぱいです。

(岡山商科大学 経営学部 経営学科 4年 野井政伸)

学内合同企業説明会 開催!

4年生(平成25年3月卒業予定者)対象としての開催は今年度最終となります。就職活動継続中の4年生はぜひ参加してください。

1. 開催日時 平成24年10月3日(水) 13:00~15:00
2. 開催場所 岡山商科大学 図書館棟7階
3. 参加企業数 約40社を予定

平成23年度計算書類(岡山商科大学収支内訳表)

資金収支内訳表

収入の部 (単位:千円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,694,580	1,681,012	13,568
手数料収入	18,297	20,989	△ 2,692
寄付金収入	15,340	14,502	838
補助金収入	71,072	84,001	△ 12,929
資産運用収入	6,045	8,013	△ 1,968
事業収入	31,253	24,224	7,029
雑収入	59,050	65,780	△ 6,730
借入金等収入	108,000	108,000	0
収入の部 合計	2,003,637	2,006,521	△ 2,884

支出の部 (単位:千円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,093,922	1,069,622	24,300
教育研究経費支出	433,601	383,078	50,523
管理経費支出	134,673	124,332	10,341
借入金等利息支出	2,052	2,052	0
借入金等返済支出	37,020	37,020	0
施設関係支出	213,035	212,356	679
設備関係支出	33,440	24,464	8,976
支出の部 合計	1,947,743	1,852,924	94,819

消費収支内訳表

消費収入の部 (単位:千円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,694,580	1,681,012	13,568
手数料	18,297	20,989	△ 2,692
寄付金	15,340	14,992	348
補助金	71,072	84,001	△ 12,929
資産運用収入	6,045	8,013	△ 1,968
事業収入	31,253	24,224	7,029
雑収入	59,050	65,780	△ 6,730
帰属収入合計	1,895,637	1,899,011	△ 3,374
基本金組入額合計	△ 162,675	△ 160,739	△ 1,936
消費収入の部 合計	1,732,962	1,738,272	△ 5,310

消費支出の部 (単位:千円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,080,349	1,034,672	45,677
教育研究経費	546,648	496,995	49,653
管理経費	157,774	150,434	7,340
借入金等利息	2,052	2,052	0
資産処分差額	1,000	1,451	△ 451
消費支出の部 合計	1,787,823	1,685,604	102,219

誌面の都合により千円未満の単位を省略しています。

大学コンソーシアム岡山事業

「日ようび子ども大学」

「日ようび子ども大学」が2012年6月24日（日）に、岡山市北区にある岡山県生涯学習センターに於いて、本学の他、県内10大学の参加で開催されました。昨年度は本学を会場として8大学で開催しましたが、今年度は規模をさらに拡大し、岡山県内の幼児・児童およそ1,200人が訪れ、科学実験や体を使った遊びなどを体験しました。本学からは、経営学部商学科ファイナンシャルプランニング（FP）コース所属の学生が中心となって「キッズマネー教室」を開催し、日頃から学んでいるFPの知識を活かし、お小遣い帳の付け方をやさしく指導しました。

（産学官連携センター）

「エコナイト」

2012年7月7日（土）

に、エコについて一人ひとりが考えること、また約1年半前の東日本大震災で被災された方々に元気を送るため、岡山駅東口広場に於いて、本学学生と県内7大学の学生が協力して「エコナイト」を実施しました。エコナイトでは、日本地図の東日本に大きなハートを重ねたキャンドルメッセージに火を灯した他、エコや東北への願いなどを込めた七夕飾り、合唱やうらじゃ踊りなどを行い、本学の軽音楽部によるライブで大いに盛り上がりました。エコナイトに先立つ7月4日には、エコキャンドルの製造などを行うペガサスキャンドル（株）の工場見学を行い、本学からは14名の学生が参加し廃油からキャンドルができる工程を学びました。

（産学官連携センター）

第47回商大祭

第47回商大祭が10月27日（土）、28日（日）の2日間の日程で開催されます。今年のテーマ「Take a Step ～新たな一歩～」は、商大祭に来場されたすべての方々に、どんな時でも前向きに一歩を踏み出す活力と多くの感動、勇気を与えられるようにとテーマに思いを込めました。

我々、大学祭実行本部としても、今日まで培ってきた伝統に加え、新たな取り組みに挑戦していきたいと考えています。期間中は、多彩なステージ企画、バラエティに富んだ模擬店の出店、展示等、内容盛り沢山です。

なお、体育館では、1日目はトークショー、2日目は4年ぶりにプロコンサートを開催します。注目の出演ゲストは・・・。

◎10/27（土）、13時～ 【トークショー】 三浦翔平

◎10/28（日）、15時～ 【プロコンサート】 BENI

※詳細は、本学HPに掲載しています。

☆皆様の来場をお待ちしております☆

お問い合わせは、

岡山商科大学 大学祭実行本部 まで。

TEL&FAX：086-256-6852

平日：16時30分～18時00分

（大学祭実行本部）



三浦翔平

BENI

人事異動

種別	役職等	氏名	所属	日付
採用 退職	嘱託職員	北村 正富	学生課	1月 1日 3月31日
	教授	中塚 隆郎	経営学科	
	教授	青木 薫	経営学科	4月1日
	教授	梅原 嘉介	経済学科	
	招へい准教授	楊 立国	商学科	
	招へい准教授	夏 麗利	経済学科	
	招へい准教授	司 炳月	商学科	
	招へい教授	郭 艶萍	商学科	
	次長	仁科 昭宣	事務局	
	主任	小野 雄造	会計課	
	課長	黒住 一成	学生課	
	嘱託職員	竹内藤一郎	キャリアセンター課	
	嘱託職員	岡 美紗子	総務企画課	
	嘱託職員	笠原 亜弓	図書課	
	嘱託職員	平岡 達也	学生課	
退任	法学研究科長	西浦 公	法学科	4月1日
	入試部長	山下 隆資	経済学科	
	入試部次長	喜田栄次郎	経済学科	
	会計教育センター長	堤 一浩	経営学科	
採用	情報教育センター長	小松原 実	経営学科	
	教授	三好 宏	商学科	
	講師	ソ コンソン	商学科	
	講師	横澤 幸宏	経営学科	
	講師	海宝賢一郎	商学科	
	招へい教授	盛 凱	商学科	
	招へい講師	張 洪梅	商学科	
	教授	三ツ井光晴	商学科	
	教授	岡東 壽隆	経営学科	
	特任教授	馬淵キノ工	商学科	
	参与	仁科 昭宣	キャリアセンター	
	事務職員	永岡 大	学生課	
	嘱託職員	横山 一哉	学生課	
	参事(嘱託職員)	山本 二郎	入試課	
	嘱託職員	井上 知恵	教務課	
昇任	准教授	新津 和典	法学科	5月1日
	准教授	小嶋 寿史	経済学科	
	准教授	山根 明子	経済学科	
	准教授	千 琳	経営学科	
	課長	甲斐 裕昌	学生課	
新任	係長	太田 尚宏	総務企画課	
	法学研究科長	香山 忠志	法学科	
	入試部長	小松原 実	経営学科	
	入試部次長	三好 宏	商学科	
再任	大学院長	井尻 昭夫	経営学科	5月1日
	教学部長	田中 潔	商学科	
	キャリアセンター長	有利 隆一	経済学科	
	社会総合研究所長	大崎 紘一	経営学科	
異動	大学院特任教授	鳥越 良光	商学研究科	
	大学院特任教授	堤 一浩	商学研究科	
	主任	平井 則子	岡山商科大学専門学校	
	事務職員	韓 壮	学生課	
	事務職員	中川 尚子	入試課	
	事務職員	山崎 温子	キャリアセンター課	
	事務職員	小倉由希子	総務企画課	
	嘱託職員	李 敬	会計課	

TSCでTV番組スタート

大学の学部学科の魅力、ユニークな教授陣、旬な話題をより多くの方に知っていただくためのテレビ番組「きゃんぱすてれびーこちら岡山商科大学放送局ー」がテレビせとうちで2012年7月からスタートしました。番組MCには学生を起用し、親しみやすく手作り感あふれる番組となっています。学生リポーターが研究室を訪問するコーナーでは、日頃の講義だけでは分からない研究の奥深さや、先生のユニークな一面などが学生の視点で分かりやすく楽しみながら伝えられます。放送は毎月第4日曜日深夜（月曜日未明）。※10月のみ第3日曜日放送予定。

TSCの
新番組

きゃんぱすてれびー
こちら岡山商科大学

7月22日③スタート!!
深夜1:30~1:45
毎月第4日曜日

岡山商科大学の大学生がリポーターを務め、学部学科・イベント・入試情報・サークル活動・教授の横顔などを紹介。大学進学を目指す高校生や同年代の若者、地域の人に岡山商科大学の今を伝える。

2013年度入試日程

A O 入 試		全学部 エントリー期間：2012年7月2日（月）～2013年2月1日（金） 試験場：本学 「岡山商科大学で学びたい」そんな君たちからのエントリーをお待ちしています。入試部：TEL086-256-6652						
試験区分				学 部	出願期間	試験日	合格発表	試験会場
推 薦 入 試	指 定 校 推 薦			全学部	9月18日(火)～10月12日(金)	10月20日(土)	10月26日(金)	本 学
	専 門 能 力 推 薦			全学部	9月18日(火)～10月12日(金)	10月21日(日)	10月26日(金)	本 学
	一般公募制推薦	前期	A日程	全学部	10月 9日(火)～10月26日(金)	11月 3日(土)	11月 9日(金)	下記前期AB日程 試験会場参照
			B日程			11月 4日(日)		
		後期			11月19日(月)～12月 7日(金)	12月15日(土)	12月21日(金)	本 学
〔一般公募制推薦入試 前期A-B日程 試験会場〕 本学、広島、福山、鳥取、松江、高松、松山、高知								
一 般 入 試	前期	A日程	全学部		1月 4日(金)～ 1月25日(金)	2月 2日(土)	2月 8日(金)	下記前期AB日程 試験会場参照
		B日程		2月 3日(日)				
	中 期 日 程			2月 4日(月)～ 2月22日(金)	3月 1日(金)	3月 8日(金)	本 学	
	後 期 日 程			2月25日(月)～ 3月 8日(金)	3月15日(金)	3月22日(金)	本 学	
〔一般入試 前期A-B日程 試験会場〕 本学、広島、福山、小倉、松江、高松、松山、高知								
大 学 入 試 セ ン タ ー 入 試	前 期 日 程			全学部	1月 4日(金)～ 2月 6日(水)	個別試験は課さない	2月15日(金)	
	中 期 日 程				2月12日(火)～ 3月 1日(金)		3月 8日(金)	
	後 期 日 程				3月 4日(月)～ 3月15日(金)		3月22日(金)	

祝 マイクロソフトオフィス日本大会で商大生が3位に!!

商学科4年生の古川優里香さん(明石南高出身)が、マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS試験)を受験し、「MOS世界学生大会2012」日本大会 大学・短期大学部門パワーポイントの部で銅賞を受賞しました。岡山県内の大学では初めての受賞です。

古川さんは、6月25日(月)に東京国際フォーラムで開催された「MOS世界学生大会2012」日本大会表彰式に出席し、表彰を受けました。10回目を迎える今回は、国内から、前回の2倍、延べ6万5千人の学生がエントリーしました。



*MOS世界学生大会

「マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS試験)」の資格を取得した学生を対象とした世界規模のパソコン大会です。社会人として必要なスキルの獲得や、国際的に活躍できる人材育成を目的に、試験実施元であるサーティポート社(アメリカ)と日本の(株)オデッセイコミュニケーションズが共同開催しており、今回で10回目を迎えます。昨年度は、世界57ヵ国から延べ22万8千人、日本からは延べ2万7千人がエントリーしました。

慶應MCC タ学サテライト 2012年度後期 開催予定

全15講演を配信予定のうち、2012年8月28日現在決定しております、2012年度後期のタ学サテライト予定です。＜ ＞は「タ学五十講」2012年度後期のテーマです。

- 開催時間 18:30～20:30(開場18:00)
- 会 場 岡山商科大学 7号館781教室
- 受講料 パスポート券(15回)10,000円
受講券(1回)1,200円

10月2日(火) <社会を変えるイノベーション>

山田英夫 (やまだ ひでお)
早稲田大学ビジネススクール 教授
「ビジネスモデルのイノベーション」

10月9日(火) <こだわりの生き方>

勝間和代 (かつま かずよ)
経済評論家
「有名人になるということ」

10月18日(木) <成熟社会の経営>

高橋俊介 (たかはし しゅんすけ)
慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科 特任教授
「想定外変化の時代のキャリアと人材育成」

10月24日(水) <世界のなかの日本>

北川智子 (きたかわ ともち)
ケンブリッジ ニーダム研究所 客員研究員
前ハーバード大学レクチャー

「世界に発信する日本史とは(『ハーバード白熱日本史教室』より)」

10月26日(金) <社会を変えるイノベーション>

井上 慎一 (いのうえ しんいち)
Peach Aviation株式会社 代表取締役CEO
「アジアの架け橋 LOVE&PEACH」

11月6日(火) <日本の文化力>

金原亨 馬生 (きんげんてい ばしょう)
落語家
「落語に学ぶ江戸の粋」 ◎落語を含む講演です。

11月13日(火) <成熟社会の経営>

西川 善文 (にしかわ よしふみ)
株式会社三井住友銀行 名誉顧問
「ラストバンカーが語るリーダーシップ」

11月20日(火) <社会を変えるイノベーション>

前野 隆司 (まえの たかし)
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授
「思考脳力とイノベーションのデザイン」

11月28日(水) <こだわりの生き方>

為末 大 (ためすえ だい)
元プロ陸上選手
「『ゾーン』の世界で生きる」

12月6日(木) <気鋭の論客に聞く>

宮台 真司 (みやだい しんじ)
首都大学東京都市教養学部都市教養学科 教授
「社会システムの再構築を急げ」

12月20日(木) <こだわりの生き方>

樹木 希林 (きき きりん)
役者
「老いの重荷は神の賜物」

1月9日(水) <気鋭の論客に聞く>

津田 大介 (つだ だいすけ)
ジャーナリスト/メディア・アクティビスト
「情報の呼吸法」

1月16日(水) <成熟社会の経営>

山根 節 (やまね たかし)
慶應義塾大学大学院経営管理研究科ビジネス・スクール 教授
「経営の大局を鳥瞰する～会計情報から経営を読む2013～」

1月22日(火) <社会を変えるイノベーション>

谷田 大輔 (たにだ だいすけ)
株式会社タニタ総合研究所 代表取締役所長
「タニタの経営論 ～世界初・家庭用体脂肪計、タニタ食堂 誕生秘話を交えて～」

1月29日(火) <日本の文化力>

角田 光代 (かくた みつよ) 作家
おちまさ (OCHI MASATO) プロデューサー
「小説を書くこと、読むこと」
◎対談形式の講演です。

■お申込み・お問合せ先
●岡山商科大学社会総合研究所
TEL&FAX 086-256-6656